

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		アストラボレテFC筑西		公表日		令和7年3月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	適切なスペースがある。	やや狭さを感じることもある。体調不良時に休むための場所があると良い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	適切に対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	児童の目線にあった掲示物が配置されている。(時間割の掲示など)	バリアフリー化にはなっていない。コンセントカバーがない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	実内でも運動できるスペースがある。子ども達が自由に遊びを選択できる。	清潔性は今ひとつ。洗濯せず使っていることがある。トイレが1つのため2つあると良い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別の部屋はないが、クールダウンできる環境は整っている。	個別の部屋があると良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	毎日午前中の時間を使って振り返りを行っている。	振り返り自体はしているが、それがPDCAサイクルに沿っているかと言われると疑問。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員全員アンケートに目を通し、改善に努めている。また、送迎の際、お話しする時間を取っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎日ミーティングを行っている。	より、職員が意見を言いやすい環境を整える。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		第三者評価は行ってない。今後利用も検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎月1度研修を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	プログラムは契約時に説明し、都度アップデートを行っている。	公表はできていない。(公表済)	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	職員での共有があり、児童・保護者のニーズで作成されている。	いろいろな場面を考えて客観的に分析はできていないように感じる。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	計画立案の話し合いができています	共通理解は今一つかと思う	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	共有できている	共有はできているが、計画に沿った支援はできていない時がある	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	職員間での話し合いができています。	標準化されたツールはない フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントで確認はできていない	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	職員間での話し合いができており、具体的な支援内容になっている。	具体的な支援内容ができていない内容と、できていない内容がある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	全体で共有し、意見を取り入れている。また狙いが何か明確にしてる。	1人で計画を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	マンネリしないように、毎日テーマに沿ってメニューを変更している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	サッカーが基本だが、制作や調理を取り入れている。集団と個別を取り入れることができている。	個別支援と児童の意欲が合わず難しい場面が多い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日、メニューの共有を行っている	前日の振り返りはできているが、当日の打ち合わせはできない(内容が薄い)ことがある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	翌日に振り返りを行っている。	前日の振り返りはできているが、当日の打ち合わせはできない(内容が薄い)ことがある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	ICTを利用し、効率化を図っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	最低6か月に一度(必要であれば期間を短縮)行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管が担当するが、その都度専門性によって参加する者がいる。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	ケース会議等で情報共有を行っている。医療機関とは報告書を用いて情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	常に連携をとっている	連絡先の共有が今一つかと感じる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	関係各所との会議に参加している	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	研修に参加している	関わりは薄いと感じる。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	外での活動で一緒になることはある	活動する機会はつくっていない 今後、地元のスポーツクラブと活動していきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳や送迎の際、お伝えしている	よりよい方法がないか模索していきたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	親子サッカーなど、親子参加型のイベントを行っている。	できていない。今後行ってきたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に行っている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	アセスメントシートで丁寧に行っている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	1つ1つ理由を述べながら行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	共感しながら、ケースに応じて応えている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	親子サッカーなどで、交流の機会を設けている	保護者会はない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	4		相談の申し入れまで持っていない
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		事業所発行の新聞や、SNS、HPで公開している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		シュレッターや持ち歩きしないようにしている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		招待できるイベントを考案したい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアルを整備している。	周知が足りないので、より丁寧に行いたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメントシートで丁寧に行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	情報共有を行っている。	医師の指示書はない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	定期的に行っている	十分かと言われるとそうではない
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5	HPIに掲載している	家族への周知が足りない より周知できるように改善を行う
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	シートを作成し、振り返りできるようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	定期的に研修を行っている		